



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 ロート製薬株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 4527 URL <http://www.rohto.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野俊昭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営企画本部長 (氏名)斉藤雅也 TEL (06) 6758 - 1211  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	55,690	6.0	6,304	17.8	6,521	16.6	4,077	13.1
23年3月期第2四半期	52,531	0.0	5,350	1.7	5,591	2.6	3,606	16.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,501百万円(47.0%) 23年3月期第2四半期 1,701百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	34 68	34 53
23年3月期第2四半期	30 67	30 54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	126,748	79,510	62.1
23年3月期	126,472	77,911	60.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 78,687百万円 23年3月期 77,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	7 00	-	8 00	15 00
24年3月期	-	8 00	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	-	8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	1.3	13,300	1.5	13,500	1.6	8,200	2.9	69 73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	117,919,596株	23年3月期	117,907,528株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

24年3月期2Q	329,765株	23年3月期	329,159株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	117,583,296株	23年3月期2Q	117,584,419株
----------	--------------	----------	--------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成24年3月期 第2四半期累計期間	55,690	6,304	6,521	4,077
平成23年3月期 第2四半期累計期間	52,531	5,350	5,591	3,606
増減率 (%)	6.0	17.8	16.6	13.1

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、急激な円高の進行やデフレに加え、東日本大震災により企業活動や消費マインドが低下したこともあり、先行きの景況感が極めて不透明なまま推移いたしました。また、海外におきましては、中国や新興国の景気拡大に牽引され、穏やかながらも回復傾向が続いたものの、欧州における財政危機の影響や、米国での失業率の高止まりなどにより、経済の回復は停滞した状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し市場の活性化に努めてまいりました。

売上高につきましては、日本では、東日本大震災の影響により経済活動に停滞が見られたものの、「肌研(ハダラボ)」や頭皮湿疹に着目した新製品の「メンソレータム メディクイックH」等が順調に推移し増収となりました。また、夏場の猛暑及び節電志向を反映して、超清涼感の定番目薬「ロートジー」や激爽感が特長の男性用化粧品「オキシー」なども好調に推移いたしました。海外では、欧米は景気の低迷及び円高による為替換算の影響を受け減収となりましたが、成長の牽引役でありますアジアにおきましては、大幅な増収となりました。その結果、売上高は556億9千万円(前年同期比 6.0%増)となりました。

利益面につきましては、売上が堅調に推移したことに加え、売上原価率の低減、販管費及び一般管理費の効率的活用にも努めました結果、営業利益は63億4百万円(同 17.8%増)、経常利益は65億2千1百万円(同 16.6%増)、四半期純利益は40億7千7百万円(同 13.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

		売上高(外部顧客に対する売上高)			
		第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
		前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)		
報告セグメント	日本	40,163	40,881	717	1.8
	アメリカ	2,958	2,577	380	12.9
	ヨーロッパ	2,053	2,003	50	2.5
	アジア	6,761	9,488	2,727	40.3
	計	51,937	54,950	3,013	5.8
その他		594	740	145	24.6
合計		52,531	55,690	3,159	6.0

<日本>

外部顧客への売上高は、408億8千1百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。

東日本大震災や急速な円高の影響などにより、先行きの景況感是不透明なまま推移いたしました。また、消費者の生活防衛意識の高まりから消費マインドが冷え込んでおり、厳しい経営環境が続いております。

そのような中で、アイケア関連では、新製品の「ロートゴールド 40」や「ロート新緑水」、猛暑・節電の影響もあり超清涼感の目薬「ロートジー」が好調に推移いたしました。スキンケア関連では、震災後、消費者がより費用対効果を重視する購買行動に変化したことや、「肌研ヒアルロンBB」「肌研ヒアルロンUV」などの新製品効果もあり、「肌研(ハダラボ)」が順調に推移し、頭皮湿疹に着目した新製品「メンソレータム メディクイックH」も好調で、さらに今夏の猛暑により激爽感が特長の男性用化粧品「オキシー」も好調に推移いたしました。一方で、本年3月にリニューアルした「オバジ」については、その反動もあり減収となりました。

セグメント利益につきましては、52億8千6百万円(同 5.5%増)となりました。

<アメリカ>

外部顧客への売上高は、25億7千7百万円(前年同期比 12.9%減)となりました。

米国での失業率の高止まりや消費の停滞もあり、厳しい経営環境が続いております。アイケア関連で目薬が順調に推移したものの、スキンケア関連で「OXY」が減収となりました。

セグメント利益につきましては、売上高が減少したものの、売上原価率は低減し、1億4百万円の損失(前年同期のセグメント損失は2億5千9百万円)となりました。

<ヨーロッパ>

外部顧客への売上高は、20億3百万円(前年同期比 2.5%減)となりました。

ヨーロッパ全体の財政、金融危機の影響があるものの、スキンケア関連の消炎鎮痛剤「Deep Heating」シリーズが堅調に推移いたしました。円高による為替換算の影響があり減収となりました。

セグメント利益につきましては、販促広告費の増加があり、1億1千6百万円(同 36.2%減)となりました。

<アジア>

外部顧客への売上高は、94億8千8百万円(前年同期比 40.3%増)となりました。

中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研(ハダラボ)」や、男性用化粧品「Mentholatum Men」、日焼け止め「サンプレイ」などのスキンケア関連が好調に推移し、増収に寄与いたしました。また、スキンケア関連に加えアイケア関連の目薬も好調に推移いたしました。

セグメント利益につきましては、「肌研(ハダラボ)」を始めとしたスキンケア関連の積極的な販促活動により、9億7千4百万円(同 75.2%増)となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は7億4千万円(前年同期比 24.6%増)となり、セグメント利益は、3千万円(同 188.4%増)となりました。

参考：製品(サービス)別の売上状況

製品(サービス)別の売上状況は以下のとおりであります。

	売上高			
	第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)		
アイケア関連	11,830	11,952	121	1.0
スキンケア関連	30,922	34,065	3,142	10.2
内服・食品関連	7,547	7,705	157	2.1
その他	2,230	1,967	262	11.8
合計	52,531	55,690	3,159	6.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は1,267億4千8百万円となり、前連結会計年度末より2億7千6百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が51億5千6百万円減少した一方、有形固定資産が34億9千3百万円、流動資産のその他が9億8千4百万円、原材料及び貯蔵品が7億2千3百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は472億3千8百万円となり、前連結会計年度末より13億2千2百万円減少しました。これは、短期借入金が15億9千5百万円、長期借入金が10億9千9百万円増加した一方、流動負債のその他が32億1千9百万円、未払法人税等が9億3千3百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては795億1千万円となり、前連結会計年度末より15億9千8百万円増加しました。これは、為替換算調整勘定が8億4千6百万円、その他有価証券評価差額金が7億1千6百万円減少した一方、利益剰余金が31億3千7百万円増加したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億4千8百万円増加し、146億5千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、52億2千3百万円と前年同期に比べ5億8千5百万円増加しました。これは、法人税等の支払額が36億4百万円（前年同期は26億2千7百万円）と増加しましたが、税金等調整前四半期純利益が67億6千7百万円（前年同期は60億4千2百万円）と増加したことや資金の増加要因である売上債権の減少額が49億8千5百万円（前年同期は24億9千1百万円）と増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、60億6千5百万円と前年同期に比べ19億7千2百万円増加しました。これは、有形固定資産の取得による支出が51億1千4百万円（前年同期は42億9千1百万円）と増加したことや投資有価証券の売却による収入が1億2千5百万円（前年同期は11億5千4百万円）と減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、19億3千1百万円（前年同期は1億2千万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純増加額が1億6千9百万円（前年同期は12億7千1百万円）と減少したものの長期借入による収入が31億4千万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
平成24年3月期	117,000	13,300	13,500	8,200
平成23年3月期	115,472	13,105	13,293	7,966
増減率(%)	1.3	1.5	1.6	2.9

当第2四半期連結累計期間の業績は、厳しい環境の中、売上高及び営業利益、経常利益、四半期純利益で過去最高を更新するなど好調に推移いたしました。しかしながら、現在の経済状況は、日本における個人消費の回復に力強さを欠き、先行きの景況感は依然として不透明な状況が続いております。

ヘルスケア関連におきましてもお客様の生活防衛意識の高まりから消費マインドが冷え込んでいることに加え、急激な円高による為替換算の影響もあり、前回公表の通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、通期の連結業績予想に用いた為替レートは〔78円＝1USD〕であります。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,106	14,654
受取手形及び売掛金	29,859	24,702
有価証券	5	-
商品及び製品	10,133	10,029
仕掛品	926	1,208
原材料及び貯蔵品	5,277	6,001
その他	4,932	5,916
貸倒引当金	137	123
流動資産合計	65,102	62,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,029	18,746
機械装置及び運搬具(純額)	6,795	9,643
その他(純額)	15,602	14,531
有形固定資産合計	39,427	42,921
無形固定資産		
のれん	1,150	1,054
その他	1,342	1,256
無形固定資産合計	2,492	2,310
投資その他の資産		
投資有価証券	15,345	14,640
その他	4,176	4,593
貸倒引当金	72	106
投資その他の資産合計	19,449	19,127
固定資産合計	61,370	64,359
資産合計	126,472	126,748
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121	10,017
短期借入金	3,199	4,794
未払法人税等	3,587	2,654
賞与引当金	1,885	1,805
役員賞与引当金	24	15
返品調整引当金	831	621
売上割戻引当金	2,437	2,299
その他	20,657	17,437
流動負債合計	41,743	39,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,716	3,816
退職給付引当金	1,411	1,398
役員退職慰労引当金	101	65
その他	2,587	2,313
固定負債合計	6,817	7,594
<b>負債合計</b>	<b>48,561</b>	<b>47,238</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,398	6,405
資本剰余金	5,517	5,524
利益剰余金	67,511	70,649
自己株式	268	269
株主資本合計	79,159	82,310
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	3,179	2,462
為替換算調整勘定	4,953	5,800
在外子会社の年金債務調整額	309	286
その他の包括利益累計額合計	2,083	3,623
新株予約権	593	579
少数株主持分	241	243
純資産合計	77,911	79,510
<b>負債純資産合計</b>	<b>126,472</b>	<b>126,748</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	52,531	55,690
売上原価	22,278	23,580
売上総利益	30,252	32,109
返品調整引当金繰入額	43	-
返品調整引当金戻入額	-	210
差引売上総利益	30,209	32,320
販売費及び一般管理費	24,858	26,015
営業利益	5,350	6,304
営業外収益		
受取利息	38	43
受取配当金	285	263
持分法による投資利益	67	5
その他	57	110
営業外収益合計	448	422
営業外費用		
支払利息	152	113
その他	54	92
営業外費用合計	207	206
経常利益	5,591	6,521
特別利益		
投資有価証券売却益	693	-
特許関連収入	-	281
特別利益合計	693	281
特別損失		
固定資産売却損	129	-
投資有価証券売却損	56	-
投資有価証券評価損	24	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30	-
貸倒引当金繰入額	-	35
特別損失合計	241	35
税金等調整前四半期純利益	6,042	6,767
法人税等	2,444	2,706
少数株主損益調整前四半期純利益	3,598	4,061
少数株主損失( )	7	16
四半期純利益	3,606	4,077

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,598	4,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,327	718
為替換算調整勘定	596	866
在外子会社の年金債務調整額	27	23
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	1,896	1,560
四半期包括利益	1,701	2,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,709	2,538
少数株主に係る四半期包括利益	8	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,042	6,767
減価償却費	1,992	2,079
のれん償却額	105	95
貸倒引当金の増減額(は減少)	55	11
賞与引当金の増減額(は減少)	5	79
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15	9
退職給付引当金の増減額(は減少)	84	24
返品調整引当金の増減額(は減少)	43	210
売上割戻引当金の増減額(は減少)	232	138
投資有価証券売却損益(は益)	636	-
投資有価証券評価損益(は益)	24	1
有形固定資産売却損益(は益)	129	-
貸倒引当金繰入額	-	35
受取利息及び受取配当金	323	306
支払利息	152	113
持分法による投資損益(は益)	67	5
売上債権の増減額(は増加)	2,491	4,985
たな卸資産の増減額(は増加)	2,830	1,188
仕入債務の増減額(は減少)	1,426	836
その他	1,608	4,334
小計	7,123	8,657
利息及び配当金の受取額	294	286
利息の支払額	152	116
法人税等の支払額	2,627	3,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,638	5,223
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	4,291	5,114
無形固定資産の取得による支出	159	112
投資有価証券の取得による支出	358	692
投資有価証券の売却による収入	1,154	125
短期貸付けによる支出	420	220
長期貸付けによる支出	1	201
その他	16	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,092	6,065
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,271	169
長期借入れによる収入	-	3,140
長期借入金の返済による支出	572	465
配当金の支払額	823	940
その他	3	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	120	1,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	441
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	191	648
現金及び現金同等物の期首残高	13,272	14,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,464	14,654

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,163	2,958	2,053	6,761	51,937	594	52,531		52,531
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	761	274		640	1,677		1,677	1,677	
計	40,925	3,232	2,053	7,401	53,614	594	54,208	1,677	52,531
セグメント利益 又は損失( )	5,008	259	183	556	5,488	10	5,499	148	5,350

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失( )の調整額 148百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,881	2,577	2,003	9,488	54,950	740	55,690		55,690
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	810	535	1	764	2,112	9	2,122	2,122	
計	41,691	3,113	2,004	10,253	57,063	750	57,813	2,122	55,690
セグメント利益 又は損失( )	5,286	104	116	974	6,272	30	6,303	1	6,304

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失( )の調整額1百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。